

東京 2020 パラリンピック聖火リレー採火式の実施について

東京 2020 パラリンピック聖火リレーが実施されるにあたり、終戦時に多くの引揚者をお迎えした「引き揚げのまち舞鶴」から、互いの価値や輝きを認め合う共生社会と、その礎である平和な社会の大切さを発信するべく、舞鶴引揚記念公園において『東京 2020 パラリンピック聖火「引揚平和の火」』を採火する採火式を実施しますのでお知らせいたします。

1 採火式実施内容

(1) 日時

令和 3 年 8 月 15 日 (日) 18 時 30 分～19 時頃

(2) 会場

舞鶴引揚記念公園 「石のモニュメント」前

(3) 内容

- ① 太鼓演奏 (舞鶴支援学校生徒)
- ② 開会あいさつ
- ③ 採火者紹介
- ④ 採火 (種火から採火台へ採火)
- ⑤ 閉会

※種火は、予め同日午前 10 時から用意します。【(6) 参照】

※閉会后、引揚記念公園内において採火した炎を展示した後、ランタンに収納し、翌日 16 日 (月) に京都府庁へ運搬します。

(4) 採火者

■舞鶴市長

■塩田 桐子氏

1984 年パラリンピック金メダリスト (陸上競技スラローム)

舞鶴市出身、京都市在住

■引揚体験者 樟 康 氏

■NPO 法人舞鶴・引揚語りの会 理事長 宮本 光彦 氏

■舞鶴引揚記念館学生語り部

■京都府立舞鶴支援学校生徒

■京都府立聾学校舞鶴分校児童

■舞鶴市身体障害者団体連合会 会長 清本 隆行 氏

【お問い合わせ先】

舞鶴市 市民文化環境部 文化スポーツ室 スポーツ振興課 担当 神社、有田、後
【TEL】0773-66-1058 【Mail】suposin@city.maizuru.lg.jp

(5) 出席者

コロナ禍のため、関係者のみで実施

(採火者、採火者・出演者関係者、舞鶴市ホストタウン推進事業実行委員会、など)

(6) 採火式で使用する種火について

採火式で使用する種火は、以下のとおりシベリア抑留体験者である安田氏により点火

■日 時 令和3年8月15日(日) 午前10時～

■場 所 安田氏自宅

■点火者 安田 重晴氏(100歳)

■取材について

点火の様子について、報道各社に取材していただけるよう調整中です。

詳細は後日改めてお知らせいたします。

2【参考】東京2020パラリンピック聖火リレーについて

聖火は8月12日(木)から全47都道府県で採火され、イギリスのストーク・マンデビルで採火された炎とともに、8月20日(金)に開催都市東京で行われる集火式で統合されて、東京2020パラリンピック聖火となります。パラリンピックを応援する全ての人の熱意が一つに集まった聖火は、翌8月21日(土)から東京のまちをリレーで駆け抜け、8月24日(火)の開会式に届けられます。

なお、京都府内では16市町で採火され、採火された炎は、8月16日(月)に京都府庁において集火される予定です。

【お問い合わせ先】

舞鶴市 市民文化環境部 文化スポーツ室 スポーツ振興課 担当 神社、有田、後

【TEL】0773-66-1058 【Mail】suposin@city.maizuru.lg.jp